

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 第6次瀬戸市総合計画の進捗と瀬戸市の経済を豊かにする方策について</p> <p>【質問趣旨】</p> <p>第6次瀬戸市総合計画は瀬戸市の将来像「住みたいまち 誇れるまち 新しい瀬戸」の実現を目指し、策定されたものと理解している。目指すべき都市像の1つ目、「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」この都市像から、瀬戸市の経済を豊かにする視点で、本市の見解を伺う。</p>	<p>(1) 第6次瀬戸市総合計画の進捗と「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」実現の方策について</p> <p>(2) 「ヒト」から見える「活力ある地域経済」の推進方策について</p>	<p>① 第6次瀬戸市総合計画は、平成29年度から令和8年度の10年間を計画期間として策定された計画であり、基本構想は、市政における最上位の方針として、市民と共有する10年先の瀬戸市のあるべき姿を示し、将来像、施策の大綱、将来人口、土地利用により構成されている。昨年実施された「住みやすさ」についての市民アンケート調査では、「住みやすい」「まあまあ住みやすい」の評価が合計78.8%との調査結果があるが、「住みにくい」「やや住みにくい」の評価が21.2%との調査結果が出ている。都市像①「活力ある地域経済と豊かな暮らしを実感できるまち」とあるが、本市が都市像としている「活力ある地域経済」とは、瀬戸市の経済がどのような状況を目指しているのか伺う。</p> <p>① 瀬戸市の経済を豊かにする方策は、「ヒト」「モノ」「カネ」の経済循環だと考える。最初に「ヒト」からの視点より、瀬戸市の4人以上従業員のいる事業所数は、1995年の982事業所をピークに2019年では、395事業所と減少。同年の当該事業所で働いている従業者数は、13,276人と、ピーク時の15,475人から減少が続き、2012年をボトムに微増の状況をどのように捉えているのか、見解を伺う。</p> <p>② 若者の本市における就職及び定着を促進する為に、「せとまち人材応援助成金」がある。その内容とこれまでの成果を伺う。</p>

備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(3)「モノ」から見える「活力ある地域経済」の推進方策について	<p>③ 「せとで未来をみつける！」瀬戸市企業ガイドブックは、瀬戸市内企業に就職を希望している方や、新たな企業との連携をさがしている方向けへの冊子であると捉えている。本冊子作成の意義と成果を伺う。</p> <p>④ 瀬戸市で活躍する若手社員を紹介している、瀬戸市企業ガイドブックは、瀬戸で働こう・働きたい方向けの入口として、大変有効な冊子であると思料できる。本市には魅力的な企業が多く存在すると思われるが、掲載企業が63社である点も踏まえて、どのように掲載企業を募集しているのか伺う。</p> <p>① 本市は、古くからやきもののまちとして陶磁器産業を中心として、発達してきました。現在では、碍子やファインセラミックスといった、陶磁器から派生した産業が成長・集積するとともに、電気機械や金属製品、医療関連など新たな産業分野への発展が図られ、本市の経済を支えている。本市の製造品出荷額等、付加価値額について、数値は、2003年をボトムに右肩上がりの状況かと考えられるが、これまでの推移と今後の動向について見解を伺う。</p> <p>② 約4500億円の業種別製品出荷額等の構成比について、産業別構成比・従業者規模別の構成比をどのように分析し、今後どのような展開が望ましいと考えているのか伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
	(4)「カネ」から見える「活力ある地域経済」の推進方策について	<p>③ ものづくりのまちとして発展してきた瀬戸市には、昭和40年代から開発が始まった穴田・暁・山の田などの企業団地があり、様々な分野の企業が進出し、本市の経済の発展に寄与している。将来が期待される産業への企業誘致として「企業立地促進奨励金」、「市内企業再投資促進補助金」などの施策がありますが、内容と活用状況を伺います。</p> <p>④ 「市内企業再投資促進補助金」は、地域経済の発展の為に尽力してきた企業が、市内で工場等に再投資することに対する補助金であるが、実績値の事業者数が、一桁が続いている状況を勘案すると、利用を促進すべく方策を検討する必要があるのではないかと思料するが、見解を伺う。</p> <p>① 活力ある地域経済を推進するためには、地域企業を成長させることが重要な要素となる。しかし、地域企業の中には、構造的な要因により収益性・生産性に課題を抱えている企業や、人材や資金に課題を抱えている企業も少なくない。事業活動には、経営資源である「ヒト」「モノ」「カネ」が欠かせない。 「カネ」は、しばしば企業の「血液」にも例えられる、重要な経営資源である。本市の金融施策事業の中に、中小企業に対する振興施策として、信用保証料補助金があるが、その目的を伺う。</p> <p>② 中小企業者に対する、信用保証料の一部の補助金と理解しているが、その交付状況について直近5年間の実績と推移を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>③ 「瀬戸市小口事業資金融資制度」について、他市町にも、同様の制度があるが、本制度の内容と、他市町より充実している点を伺う。</p> <p>④ 愛知県内に市独自の融資制度を設けている市は、本市の他、岡崎市・刈谷市・新城市・豊川市・豊田市・豊橋市・西尾市などがあるが、貸付限度額・信用保証料の補助率・金利の優遇等、事業資金円滑化及び他市との差別化の為に、今後の融資制度の充実と補助率を改定する考えはないか、見解を伺う。</p> <p>⑤ 瀬戸市の経済活性化の為に地域産業の振興が欠かせないと考えるが、コロナ禍を過ぎた中小企業向けに、インパクトのある施策を、例えば、保証料100%補助する制度融資や小口零細企業保証とは別枠となる制度融資の創設等について、どのように考えるか、見解を伺う。</p> <p>⑥ 最後に、政府は令和5年11月10日に令和5年度補正予算を閣議決定した。今回の補正予算は、「デフレ完全脱却のための総合経済対策」であり、その早期執行について、「本経済対策の速やかな執行により、物価高に苦しむ生活者・事業者に対し、一刻も早い支援策をお届けする。このため、全府省庁の連携の下、地方公共団体等への周知を徹底し、国・地方が一体となって、できる限り早期の執行に努める。」と、総務省自治財政局財政課から事務連絡が発出されている。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

3 番	山内 精一郎 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
		<p>瀬戸市も、令和5年度補正予算に伴う対応において、経済対策の趣旨を踏まえ、物価高対策などの支援策の効果を一刻も早く、年内にも住民や事業者に実感してもらえるよう、早期執行に向けた関連予算を審議しているが、国のデフレ総合経済対策に伴った重点支援地方創生臨時交付金の使途、補正予算について、今後どのような考えのもとに編成されるのか、見解を伺う。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。